

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ）アイチダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）フルカワゼミナール
愛知大学	経営学部	古川ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）アールワン	フリガナ）ツツイ ルイ	3	
R-ONE	筒井 瑠唯		

研究テーマ（発表タイトル）

VR を用いた事業の効率化～不動産業界の事例から～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

VR 元年と言われている2016年。企業のVR導入事例も目立つ中、消費者向けの製品も数多くリリースされている。しかし、VR製品は価格が高ことから一般消費者のもとに届いていない。そこで VR のサービスを多くの企業が導入している、不動産業界の消費者向け VR サービスに焦点を当てた。このサービスにより、事業は効率化されているのか、また、消費者は、このサービスをどう捉えているのか、という疑問を調査し、その結果から今後導入すべき分野を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

VRは近年、急速に浸透しており、消費者の認知度は比較的高い。しかし、製品の購入・予約には、ほとんど至っておらず、VRを使ったことがある人が少ない。また、先行研究の数も極めて少ない。

3. 研究テーマの課題

VRを積極的に導入している業界として、不動産業界に注目してみると、VRで部屋を閲覧することができるサービスを取り入れていることがわかった。VRを取り入れることにより、事業に与える効果を、消費者、企業の、両方の視点から分析する。現在、VRを導入することによる、事業の効率化や、消費者のVRに対する関心のデータ、先行研究は数少ない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

不動産会社の消費者向け VR サービスが消費者と企業に与える影響について研究し、VRの活用に適している事業を提案する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

先行研究が極めて少ないため、アンケート調査を中心に研究を進めた。

6. 結果や今後の取り組み

研究の結果、VR で、部屋を閲覧することができるサービスによって、消費者が、実際に住宅に足を運んで内見する戸数を絞れることがわかった。また一人当たりの内見戸数の減少は、不動産企業にとっても事業効率化に繋がっていることがわかった。そこで不動産業界での研究結果をもとに、今後 VR を導入すべき分野を提案する。

7. 参考文献

『60 分でわかる！VR ビジネス最前線』VR ビジネス研究会

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。